

プラット ニュース

vol. 17



TOYOHASHI
ARTS
THEATRE
PLAT

『熱海殺人事件』 2016年1月6日・7日
PLAT主ホール

名作が待望の復活! つかこうへいのDNAが 再び動き出す

故つかこうへい初期の代表作『熱海殺人事件』がよみがえる!しかも風間杜夫・平田満という当時の顔合わせだ。これはまさに、事件!現代の演劇シーンを牽引する多くの才能たちが魅せられてきた名作。演出は、劇団☆新感線、いのうえひでのり。彼もまた『熱海』信者だ。



工員・大山金太郎が熱海で女工・アイ子を絞め殺す。そんな取るに足らない事件を「捜査のしがいのある」「哲学的な意味のある」事件に、そして大山を一流の犯人に育て上げようとするタキシード姿の部長刑事・木村伝兵衛。反発しながらも成長していく地方出身の新任刑事・熊田、木村の愛人の婦人警官・ハナ子を取り調べ室で愛憎入り乱れる物語を繰り広げる――。

現代の演劇がスマートでスタイリッシュになればなるほど、人間くさく、破天荒で、不条理で、カッコいい『熱海』は輝きを増す、そんな気がする。だからこそ『熱海』を体験した演劇ファンはどこかで復活を待ち望んでいたのではないか。

まずは、あのころの舞台を 再現する

演出のいのうえは、劇団☆新感線旗揚げ公演で『熱海』を上演し、以降4年ほど



撮影＝谷古宇正彦

はつか作品に没頭していた。拠点としていた大阪では、同世代の劇団が必ず挑戦していたし、連続上演する『熱海連続殺人事件』という企画にも参加した。

いのうえ●「僕が観ていたつかさんの芝居をもう一回観られないかとの想いはずっとあって。当時は劇場にラジカセを持ち込んで(苦笑)、録音したものを家で死ぬほど聞いてました。僕らの『熱海』は「大都会」というドラマのテーマ曲に、アニメーション映像を使ったオープニングでしたね。今回は風間さんと平田さんがいらっしゃるので、あえてあのころと同じ『白鳥の湖』で始めたい。風間さん、平田さんの『熱海』をやります。稽古場でもせりふ回しやテンポに、本物だ!と密かに感動しています。隙があれば自分らしさを入れたんですけど、基本は再現すること。新しい解釈を入れるつもりはありません。僕らが面白いと思った作品が今のお客さんにどう伝わるのか楽しみです」

インタビューをした中島シニアプロデューサーもまた草創期にVAN99ホールで観た、『熱海』信者。以前、北九州芸術劇場で若い役者を相手に『熱海殺人事件』を題材にワークショップするいのうえを見て、「演出したら面白い」と思ったという。この日の稽古場でも、休憩中に、いのうえが4役分のせりふを静かに反芻する姿が一人芝居で演じているようだったという。

いのうえ演出の別作品に出演した風間も復活への想いを抱いていた。けれど平田は少し違った。いわく「やりたいからやる程度だったら、無理じゃないかと。体力的なこともあるし、昔をしのいでやるのはいやでした。作ったのは若いころ、若者の物語だという思いがあった」と慎重だった。

台本はなく、つかがその場で口にするせりふをおうむ返しする稽古。せりふを通して、いつしか自身の人間性まで晒されていく。平田は苦くも、充実した演劇青年時代を思い浮かべていたのだろうか。しかし、いざ稽古が始まると自分の中にせりふが染み付いていることを発見したのは新鮮だった。

平田●「風間さんと『熱海』をやったのは33年前。当時の熱狂や、同様の見方をされるとは思っていません。ただお客さんに前にして感じた面白さをもう一回確かめたり、今だからこそわかることがあるかもしれない。昔のお客さんは懐かしく、初めての方は今の目で見てくださると時間を超えて生きているお芝居になったと言える。やっぱり40歳を過ぎてやるもんじゃないよと思われるかもしれないけど(苦笑)」

『熱海殺人事件』よ、 未来につなぐ

初演は1973年の文学座。1975年以降、平田は第1期つかこうへい事務所時代



風間杜夫

僕も何年か前から、30数年前に僕らがやった『熱海』を再びという想いはありました。つかさんのせりふを、まさか再び平田君と交わすことができるとは思っていません。つかさんのセンスが血肉になっている俳優さんですから、僕もどんどん当時を思い出して、幸せを感じています。そしてつかさんのお嬢さん、愛原さんと同じ舞台上立つなんてことはもう事件。さすがに昔のスピード感、肉体のキレにはちょっとやそとじゃ戻らない。僕らも役者として技術はいろんな経験で身に付きました。まあ、つかさんに言わせればそれもアカですけど、そのアカを落として、初心に戻って臨みたいと思います。

愛原実花

父はこの作品を25歳で作りました。今の私はそのころの父と同じ世代。お稽古中に、幼いころリビングで父とニュースを見ながら事件について話したことなどすっかり忘れていたはずのことをふっと思い出しています。何かの力のおかげなのか、父の魂を近くに感じる幸せな毎日です。幼いころ拝見していた風間さん、平田さんとご一緒するのはすごく特別なこと。必死に頑張っていきます。

中尾明慶

意気込みを言える状況でもなく、とんでもない中へ放り込まれてしまったという状況です。正直右も左もわからないですし、いのうえさんについていくかありません。今は日々訓練訓練で修行のような感じですし、つかさんはその人の人間性をすべて出させるような芝居を求めていると伺って、何を言われようとも僕も必死にくらいついでと思っています。

[かざま・もりお] 俳優小劇場附属養成所を経て、71年に劇団表現劇場旗揚げ。77年以降、つかこうへい事務所「熱海殺人事件」「蒲田行進曲」などに出演。映画「蒲田行進曲」で日本アカデミー賞最優秀助演男優賞など受賞。常に第一線を走り続ける一方、近年は落語の独演会も多数開催。03年文化庁芸術祭賞演劇部門大賞、04年読売演劇大賞最優秀男優賞を受賞。10年紫綬褒章受章。

[ひらた・みつる] つかこうへい事務所旗揚げに参加。82年の解散まで、ほとんどの作品に出演。82年、映画「蒲田行進曲」で日本アカデミー賞最優秀主演男優賞。01年、「こんにちは、母さん」『ART』で読売演劇大賞最優秀男優賞受賞。14年、紀伊國屋演劇賞個人賞受賞。06年より井上 加奈子とのアル☆カンパニーで数々の作品を上演。穂の国とよし芸術劇場芸術文化アドバイザー。

[あいはら・みか] 04年宝塚歌劇団に入団。『スサノオ/タカラヅカ・グローリー!!』で初舞台を踏み、同年、雪組に配属される。09年より水夏希の相手役として雪組トップ娘役に就任。10年に退団後は、ミュージカルを中心に活躍。NHK「マッサン」「平清盛」など、映像にも活躍の場を広げている。

[なかお・あきよし] 00年にドラマ「ママまっしぐら」で俳優デビュー。翌年「3年B組金八先生」に出演し、注目を集める。映画、ドラマ、舞台と幅広く活躍中。主な舞台作品は「奇跡の人」(鈴木裕美演出)、「ライチ☆光クラブ」(江本純子演出)、「七人ぐらの兵士」(水田伸生演出)など。

[いのうえ・ひでのり] 劇団☆新感線主宰、演出家、劇作家。80年に大阪芸術大学舞台芸術学科の四回生を中心にしたメンバーで旗揚げ。つかこうへいのコピー劇団として人気に火がつき、84年『つかこうへいサヨナラ3本立』と銘打ち、つか作品と決別。マンガ的な世界をコンサート通りの照明・音響を駆使して彩り、ハードロック・ヘヴィメタルにのせた派手な独自路線で圧倒的な人気を博している。

の『熱海』にすべて出演している。その後、つかの演出で、韓国俳優版、阿部寛主演版、女・木村版など、さまざまなバージョンが生まれた。しかし、つかが2010年に亡くなった後は話題にのぼる上演はなかった。

風間・平田のコンビの実現は確かにうれしい。でも大事なものは、『熱海』という宝が未来へと受け継がれていくこと。つかの愛娘・愛原実花、中尾明慶がその役割を担う。いのうえ●「つか作品の魅力は人間への描き方の深さ。一人の人間の、すごく嫌な部分があれば、優しさも切なさもあるというふうに多面的に描いている。それでいて基本的には笑わせるというスタンス。こういう作品は唯一無比だと思っています」



平田満



『熱海殺人事件』

- 作=つかこうへい
- 演出=いのうえひでのり[劇団☆新感線]
- 出演=風間杜夫/平田満/愛原実花/中尾明慶
- 日時=2016年1月6日[水]19:00開演/7日[木]13:00開演
- 会場=PLAT主ホール
- 料金=[全席指定]S席:9,000円/A席:7,000円/B席:5,000円 ほか

チケット発売中
残りわずか

高校生と創る演劇

『赤鬼』 作=野田秀樹 構成・演出=黒澤世莉
2015年11月7日・8日 PLAT主ホール舞台上特設舞台

高校生と創る演劇シリーズの第2弾、野田秀樹の『赤鬼』が劇団「時間堂」の黒澤世莉の演出で上演された。オーディションで選ばれた16名、スタッフとして参加した5名が、計4ステージを駆け抜けた。第一線で活躍するスタッフ「と」の芝居作りは、それは贅沢な時間だったろう。そして、高校生「と」の芝居作りを行ったスタッフにも同じことは言える。



客席に座ると、ベテラン音響の市来邦比古さんがいる。引っ張りだこの若手美術家の原田愛さんがいる。ニコニコ笑顔がはずんでいる。対象的に出番を待つため客席後方に控える高校生たちからは緊張の塊が入道雲のようにもくもく。開演前に携帯電話の注意などを読む高校生たちの後姿も同じ空気を発している。演出の黒澤世莉さんが、柔らかな口調で軽口を叩く。本番前日、全編を本番さながらに行う通し稽古、ゲネプロ前のことだ。――ゲネプロ終了。本番を翌日に控え、閉館時間が過ぎた劇場受付前を急ぎ足で通り過ぎる高校生の顔には、メイクのペイントが残ったまま。高校生っぽいあどけない表情だ。

「高校生と創る演劇」は去年の『転校生』に続き2度目。開館当初から高校生とプロが作品をともに作る企画があるのは素敵

だ。高校演劇の底上げもできる、未来の観客も育つ、晴れ姿を楽しみに初めて劇場にやってくる親御さん、同級生もいる。だから責任は重大なのだよ、みんな!

**お膳立てはできた!
あとは君たちが成果を見せろ!**

劇場入口にはメンバーの顔写真が入った大きな幕(すごい!)。客席への導線には漁業に使う網が置かれ、徐々に観客を海辺の村に誘う。主ホールのステージ上に作られた白い四角の空間。客席はそれを四方から囲んでいる。

劇場が用意した戯曲は野田秀樹の『赤鬼』。閉鎖的な村に“赤鬼”が流れついたことから繰り広げられる大騒動が描かれる。今回は、もともとの4人芝居ではなく、アンサンブルを多用して15人で演じたタ

イ俳優版(これも野田が演出)をもとに作られた。高校生がおへそや腕を出した白い衣裳をまとい風のように走り回る。時に白い空間の外に待機し、さまざまな音の出る道具(市来さんの所有物らしい)を合いの手のように鳴らす。あの女、とんび、ミスカネは一人が演じ、赤鬼は、数人がかりでアメンバーのように登場する。けれど赤鬼のことを理解しようとする、あの女の前だけは一人で演じているようだ。黒澤●「僕は『赤鬼』の中でタイバージョンが好きなんです。なんて美しいんだろう、演劇ってこうじゃなきゃって思うんです。もともと寓話ですからアンサンブルで見せるのに向いている。そして日本のいち地方都市、彼らにとってはやや閉鎖的に感じるであろう環境にいるという意味でも向いている作品だと思います。東京の高校生にはない感覚でしょうから」

最初は“頑張っている高校生”のフィルターを通して見ていたが、いつしかそのことをすっかり忘れて見入った。しかし話が進むにつれ、『赤鬼』を観ているはずが、学校の教室でのいじめの物語に見えてきた。いじめる側には、いじめる相手もはや人間にさえ見えていないかのように。ラストシーンで光に誘われるように階段を上



自由の鐘を鳴らすのは、 『赤鬼』という宝を手にした君たちだ!



撮影＝萩原ヤスオ

るあの女は、何かから解放されたかのよう。劇中にあるせりふ「I have a dream let freedom ring.(私には夢がある、自由の鐘を鳴らせ)」が心に染み渡った。これから彼らはようやく夢に向かって歩いていくのだろう。

黒澤●「僕はただ僕が思うストレートな作り方をしただけ。教室の話に見えたというのはうれしかったです。そういう広がりがあるとしたら、高校生の彼らがやっていることが本質的で的を射ているということだと思うので。あの女は狭いコミュニティを出ようとして失敗した。けれど、そうやって失敗した人たちの礎があって、明日はまた新たに出ていこうとする人が現れる。何人も何人も失敗するかもしれないけれど、いつかそこを出ていくやつがいる」

いつしか芽生えた 主体性こそ大事

公演を終えて、黒澤さんは、高校生と創ることを、こう振り返った。

「今度みたいな企画では空間の贅沢さ、大人の能力みたいなものは徹底的に影に徹したほうがいいと思う。高校生と創るというのは、僕らも一緒に作るんですけど主体性は高校生が持つべき。見に来る人もそ

れを見たいし、僕らもそこを見せたい。今の16人にしかできないことがあって、16人でできることを全部そのままな板に上げるということができたと思います。それが彼らにとって一番の財産になってくれれば」

3カ月の稽古のあいだに、彼らはありとあらゆる面で変わったと言う。体も、筋肉も、立ち姿も、スタイルも、表情も。最大の変化は主体性の部分だ。

黒澤●「そこが芽生え始めていますよね。自分たちの演技に対して、うまくいってない部分をちゃんと批判できる。文句ではなく、ここはこうと決めただからちゃんとやろうよと。波風を立てないようにしていた高校生たちが作品のために主体性を持つようになったのは頼もしい」

市来さんも「みんないいよ!まず目標を発見して、それを持ち続ける。芸術は“それ”でしょう。常に目標を持って進んでいくこと、そこがなければ“アート”じゃないでしょ」と同じことを語っていた。

公演が終わった夜、ちゃんと顔のメイクを落として劇場から帰っていく高校生たちの姿が、いつしか凛々しくなっていたのは、気のせいかな。たぶん、あの女が前を見ながら未来へ向かっていくように。

I have a dream let freedom ring.

〔くろさわ・せり〕演出家。時間堂堂主。札幌劇場祭TGR2014特別賞(作品賞)受賞、佐藤佐吉賞優秀作品賞、演出賞受賞。スタニスラフスキーとサンフォード・マイズナーを学び、時間堂として活動を開始。劇団外部の演出も多数。「俳優の魅力を活かすシンプルかつ奥深い演劇」を標榜し、俳優と観客の間に生まれ、瞬間瞬間移ろうものを濃密に描き出す。俳優指導者やファシリテーターとしても円演劇研究所やENBUゼミ、PAVLIC他で活動中。



1/11 MON 1/29 FRI 2/19 FRI

プラットフォームコインコンサート

●会場=PLATアールスペース ●料金=[全席自由]500円

宮部まどか ピアノで巡るアンダルシア

●出演=宮部まどか[ピアノ] ●日時=1月11日[月・祝]11:30開演

宮脇泉月 ヴァイオリンで奏でる名曲訪ね歩き

●出演=宮脇泉月[ヴァイオリン]/松山美津穂[ピアノ]

●日時=1月29日[金]11:30開演

井垣壮太 ワンスプーンコンサート

●出演=井垣壮太[ピアノ] ●日時=2月19日[金]11:30開演

好評発売中

1/6 WED—1/7 THU

熱海殺人事件

●作=つかこうへい ●演出=いのうえひでのり[劇団☆新感線]

●出演=風間杜夫/平田 満/愛原実花/中尾明慶

●日時=1月6日[水]19:00開演・7日[木]13:00開演

●会場=PLAT主ホール

●料金=[全席指定]S席:9,000円/A席:7,000円/B席:5,000円 ほか

残りわずか

1/16 SAT

ケイリン福祉コンサート

日本フィルハーモニー交響楽団ニューイヤーコンサート

●指揮=西本智実 ●出演=日本フィルハーモニー交響楽団

●日時=1月16日[土]16:00開演

●会場=ライブポートとよはし コンサートホール

●料金=[全席指定]S席:4,500円/A席:3,000円 ほか

当日券の販売に関しては
お問い合わせください。 **前売予定枚数終了**

1/23 SAT

NHKエデュケーショナル×コンドルズ

コンドルズの“からだ遊び”って面白い!

世界中で活躍する男性のみ学ラン姿のダンス集団・コンドルズがプラットの舞台上で次々と繰り広げる「からだ遊びパフォーマンス」。0歳からおとなまで「からだ遊び」を一緒に体感して楽しめるステージをお届けします。

●構成・映像・振付=近藤良平 ●出演=コンドルズ

●日時=1月23日[土]15:00開演 ●会場=PLAT主ホール

●料金=[全席指定]おとな:2,500円/子ども[高校生以下]:500円

※3歳未満は保護者膝上に限る無料。(0歳から入場可)

好評発売中



2/2 TUE

二兎社 書く女

2006年に寺島しのぶ主演で上演された樋口一葉の物語を、10年ぶりに今注目の若手女優・黒木華主演で再演!数々の演劇賞をさらった話題作をお贈りします。

●作・演出=永井 愛 ●作曲・ピアノ演奏=林 正樹

●出演=黒木 華/平 岳大/木野 花 ほか

●日時=2月2日[火]18:30開演 ●会場=PLAT主ホール

●料金=[全席指定]S席:6,000円/A席:5,000円/B席:3,000円 ほか

当日券の販売に関しては
お問い合わせください。 **前売予定枚数終了**

3/5 SAT—3/6 SUN

市民と創造する演劇 夏の夜の夢

会員先行=1月9日[土] 一般発売=1月23日[土]

昨冬にPLATアールスペースで上演した演劇ユニットてがみ座「汽水域」で演出を務めた扇田拓也が、W.シェイクスピアの名作をオーディションにより選ばれた一般市民とともに贈ります。

●作=W.シェイクスピア(河合祥一郎訳「夏の夜の夢」より)

●構成・演出=扇田拓也 ●出演=オーディションで選ばれた一般市民 ほか

●日時=3月5日[土]・6日[日]両日14:30開演 ●会場=PLAT主ホール

●料金=[全席指定]一般:2,000円/ユース[24歳以下]:1,000円

子ども[高校生以下]:500円

3/12 SAT—3/13 SUN

オイスターズ第18回公演 この声

名古屋を拠点に全国で活躍する劇団オイスターズの新作です。

各日、終演後に演出・平塚直隆などによるトークを行います。

●作・演出=平塚直隆 ●出演=田内康介/横山更紗/川上珠来 ほか

●日時=3月12日[土]・13日[日]両日14:30開演

●会場=PLATアールスペース

●料金=[全席自由/日時指定・整理番号付き]一般:3,000円 ほか

好評発売中

4/24 SUN

春風亭小朝独演会

会員先行=2月6日[土] 一般発売=2月13日[土]

幅広い世代からの人気を誇る落語家・春風亭小朝の独演会が今年もやってきます。

●出演=春風亭小朝 ●日時=4月24日[日]13:30開演

●会場=PLAT主ホール

●料金=[全席指定]一般:3,500円/ユース[24歳以下]:2,500円

5/14 SAT—5/15 SUN

猟銃

会員先行=1月17日[日] 一般発売=1月30日[土]

ひとりの男の13年間にわたる不倫の恋が、妻・愛人・愛人の娘の三通の手紙によって描かれた井上靖の恋愛小説『猟銃』を舞台化。

●演出=フランソワ・ジラル ●出演=中谷美紀/ロドリゲ・プロトー

●日時=5月14日[土]・15日[日]両日13:00開演

●会場=PLAT主ホール ●料金=[全席指定]一般:9,000円 ほか

チケットの購入・お問合せ

プラットチケットセンター

●劇場窓口・電話

0532-39-3090

[休館日を除く10:00~19:00]

●オンライン

http://toyohashi-at.jp

[24時間受付・要事前登録]

プラットフレンズ募集

入会金・年会費無料

劇場窓口または劇場ホームページからご登録いただけます。

●特典

http://toyohashi-at.jp

1 公演情報をメールでご案内します。

2 インターネットでチケット予約ができます。

3 主催公演のチケットを一般発売に先がけてご予約できます。



◆U24・高校生以下割引ご案内 ほぼすべての財団主催公演に、若い人にお得な料金を設定しています。●料金=U24[24歳以下対象]:公演ごとに指定する席種の半額/高校生以下:一律1,000円 ●購入方法=各公演の一般発売初日から窓口にて取扱い。●その他=本人のみ1公演につき1人1枚。枚数限定。座席の指定はできません。要・入場時身分証明書提示。



第14回

芸術文化アドバイザー
**平田 満の
ちよこつと
エッセイ**

「役者は人間性を見せる」

今度、33年ぶりに『熱海殺人事件』に出演することになりました。これは5年前に亡くなった私の恩師でもある劇作家・つかこうへいさんの、岸田國士戯曲賞を受賞した出世作です。

私も参加したつかこうへい事務所公演として、8年間毎年上演され、多くの方に観ていただいた思い出深い作品です。

「楽しみですね!」となつかしんだり期待したりしてくださる声をいただきながら、私は奮い立つ気持ちとともに、あるプレッシャーを感じていました。

つかさんは独特の表現で演出していました。「役作りナシ!」「気持ちナシ!」(下手な役者の役作りは不要、ということ)「役者のつもりなんかいらねえんだよ!」あげくには「お前の歩き方には哲学がない!」とか「育ちが悪いから芝居がつまらないんだよ!」と言われる始末。まだるっこしい説明なしに核心をズバリ言われるので、こちらはグウの音も出ません。

そのつかさんは、「うまい役者は飽きる」「役者は人間性を見せればいいんだ」とも言っていました。人間性を見せろ、とはすごい言葉です。もうごかしいテクニックなんか通じません。謙虚に一生懸命やるしかありません。その一方で、社会でうまくやっていけないような不器用な役者の必死さが、つかさんは大好きでした。

ちゃんと生きてきたらどうか、不純な大人になっていないだろうかと、『熱海殺人事件』をやることで自分の生き方があらわになってしまう怖さを感じます。「いっばしの役者のような顔をしているが、今お前は自信をもって俺の芝居に出られるか?」「原点に戻ってすべてをさらけ出す覚悟はあるのか?」今回、若き日のつかさんにそう問われているような気がします。



<p>知識製造業 http://www.san-en.co.jp</p>	<p>代表取締役 竹尾 誠 株式会社 竹尾建築設計事務所 豊橋事務所 / 豊橋市平川南町91-2 〒414-0035 Phone: 0532-424-1331 (代) Fax: 0532-424-1332 浜松事務所 / 浜松市東区海道完町13 〒433-0007 Phone: 0534-422-3628 (代)</p>	<p>看板 広告 アラキスタヂオ 豊橋市上伝馬町十六番 電話 〇五五八六番</p>	<p>大島整形外科クリニック 豊橋市大島 電話 六二一五五一番</p>	<p>本豊川堂 カルミア店 五五一六八八番 アピタ店 五五一二八〇番 五五一六三五一番</p>	<p>YMバレエ カンパニー 21 8610</p>	<p>伊魚有限公司 電話 52-5256</p>	<p>本と文具なら 精文館書店 TEL.54-2345</p>
<p>子約弁当承ります。 詳しくはプラットください TEL=0532-56-3500</p>	<p>医療法人 羔羊会 弥生病院 日本医療機能評価機構認定 渡辺のり子(東高2回生) 〒441-8106 豊橋市弥生町字東豊和96 TEL(大代)48-2211</p>	<p>伊藤 藤 文之 二一院</p>	<p>大島整形 豊橋市大島</p>	<p>東田町 豊橋市東田町</p>	<p>本豊川堂</p>	<p>伊魚有限公司</p>	<p>精文館書店</p>

<p>竹内産婦人科 産婦人科 婦人科(不妊治療) 豊橋市新本町 23 豊橋 竹内産婦人科 検索 Q</p>	<p>塩之谷整形外科 院長 塩之谷 昌 副院長 塩之谷 香 豊橋市船田町454 ☎(0532)25-2115 (代)</p>	<p>harobaro コーヒー・ハロバロ 市民文化会館内にOPEN!</p>	<p>写楽集団・クラブ KAIHO パートII KOTARO DAIGOLAW NORI-G 法務 NOBU GUCCHI 総務 MATSUO TAKEDA 広報</p>	<p>株式会社 谷山建築設計事務所 豊橋市西羽田町一八三 http://famiyama-archi.com</p>	<p>豊橋調理製菓専門学校 調理と製菓のおいしい資格。 豊橋市八町通二丁目二二二 TEL 五三二八〇九</p>	<p>グロトリアンピアノ地域特約店 白羽楽器株式会社 電話 053-464-13015</p>
<p>ONOCOM 株式会社オノコム</p>	<p>Gallery 48 呉服町48 TEL.54-4848</p>	<p>安心・安全な地下駐車場 パーク500 プラット主ホール・アートスペース公演等へのお客様は30分150円を30分100円(上限4時間まで)に割引します。 ゾウの親子の看板が目印</p>	<p>稲荷寺 壺屋舟当部 電話: 0532-31-1133</p>	<p>株式会社 谷山建築設計事務所</p>	<p>豊橋調理製菓専門学校</p>	<p>白羽楽器株式会社</p>

<p>気まぐれコンサート 事務局 / 0532-62-9259 (小川恵司)</p>	<p>井上皮膚科クリニック ☎ 0532-55-7007 診療時間 月・火・木・金 10:00~13:00 16:00~19:00 土 10:00~14:00 休診日:水・日・祝 愛知県豊橋市向山町字中畑13-1 マイルストン1F</p>	<p>共和印刷株式会社 豊橋市小池町36番地の1 TEL 461-32281 FAX 461-32285</p>	<p>プラスワンの付加価値をお客様に提供いたします。 共和印刷株式会社</p>	<p>整形外科・皮膚科・リウマチ科・リハビリテーション科 医療法人 大岩整形外科・皮フ科 院長 大岩 俊久 豊橋市大橋通二丁目二二五 電話 五五一二二〇〇</p>	<p>伝統的工芸品 豊橋筆 書道用品専門店 高誠堂 豊橋市呉服町四拾四番地 電話 五二一五五一四</p>	<p>創業文政年間 日築 飯 ぎく宗 高誠堂 豊橋市新本町40 電話52-5473番</p>	<p>練物 專家 ねりや花ぞん コラボフロント ホテルアーケード内 TEL 54-2345</p>	<p>豊橋名産 舟ちくわ</p>
<p>生活にファインクオリティ sala</p>	<p>井上皮膚科クリニック</p>	<p>共和印刷株式会社</p>	<p>大岩整形外科</p>	<p>高誠堂</p>	<p>高誠堂</p>	<p>高誠堂</p>	<p>ねりや花ぞん</p>	<p>舟ちくわ</p>

PLAT CALENDAR

1 JANUARY

- 5 TUE 『熱海殺人事件』プレトーク ●PLATアートスペース
- 6 WED — 7 THU 『熱海殺人事件』 ●PLAT主ホール
- 11 MON ブラットワンコインコンサート 宮部まどか「ピアノで巡るアンダルシア」 ●PLATアートスペース
- 17 SUN 18th Piano Concert ●PLATアートスペース
- 20 WED—22 FRI 豊橋演劇鑑賞会 第252回例会 前進座「夢千代日記」 ●PLAT主ホール
- 23 SAT NHKエデュケーショナル×コンドルズ「コンドルズの“からだ遊び”って面白い!」 ●PLAT主ホール
- 24 SUN 新春天狗連名人会? ●PLATアートスペース
- 29 FRI ブラットワンコインコンサート 宮脇泉月ヴァイオリンで奏でる「名曲訪ね歩き」 ●PLATアートスペース
- 30 SAT 突撃おたま音楽部「遠藤律子Funky Latin Jazz Session!」 ●PLATアートスペース

2 FEBRUARY

- 2 TUE 二兎社Vol.40『書く女』 ●PLAT主ホール
- 6 SAT 第3回桜ヶ丘高等学校ダンス部自主公演 Know the Ledge ●PLAT主ホール
- 7 SUN 豊橋市地下資源館開館35周年記念 2014年ノーベル物理学賞受賞 天野浩先生講演会 ●PLAT主ホール
- 14 SUN WORLD DANCE CARNIVAL 2016 ●PLAT主ホール
- 15 MON 第23回三遠南信サミット2016 in 東三河 ●PLAT主ホール
- 16 TUE 休館日
- 19 FRI ブラットワンコインコンサート 井垣壮太「ワンスプーンコンサート」 ●PLATアートスペース
- 21 SUN Dance Act vol.2 ●PLAT主ホール
- 28 SUN 豊橋日仏サロン創立10周年記念コンサート ●PLATアートスペース

[表紙写真]演出のいのうえひでのり(左)と熊田役の平田満。
手前にあるテーブルは『熱海殺人事件』の象徴とも言える
木村伝兵衛部長刑事のデスク。

企画・発行=公益財団法人豊橋文化振興財団

編集=今井浩一

デザイン=松吉太郎デザイン事務所

写真[表紙]=谷古宇正彦

平成27年12月 発行17号 [隔月発行]

穂の国とよはし芸術劇場

TOYOHASHI ARTS THEATRE

〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町123番地

Tel.0532(39)8810[代表] <http://toyohashi-at.jp>

●開館時間=9:00~22:00 ●休館日=第三月曜、

12/29-1/2。第三月曜が祝日の場合はその翌平日。